

# 中期目標の達成に向けた平成26年度目標

大阪市立海老江東小学校

## 【視点1 学力の向上】

- a 平成26年度の全国学力・学習状況調査における国語の主として活用の問題の正答率を全国平均より5ポイント向上させる。 ※H25:本校 58.0 全国 49.4 (カリキュラム改革関連)

- a-1 英語活動を通して、コミュニケーション力がついたと感じる子どもの割合を50%以上にする。  
(カリキュラム改革関連)

- b 児童一人当たり1日の家庭学習の時間を1.1倍の50分にする。

※H25:45.2分 (カリキュラム改革関連)

- c 家庭学習の手引きを作成し全児童に配布して学年に応じた自主的な学習の仕方を理解させる。学校アンケートで「自主学習の仕方がわかった」の割合を70%以上にする。

※H25:87% (カリキュラム改革関連)

- d 学校アンケートで「家で学校の予習・復習をしている(どちらかといえば、している)」の割合を70%以上にする。  
※H25:77% (カリキュラム改革関連)

## 【視点2 道徳心・社会性の育成】

- e 平成25年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがある」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

※H25:90.4% (カリキュラム改革関連)

- f 学校アンケートで、「すすんであいさつをしている(どちらかと言えばしている)」と答える児童の割合を80%以上にする。  
※H25:88% (カリキュラム改革関連)

- g 学校で認知した「いじめ」について、解消に向けて組織的に対応している割合を100%にする。  
(マネジメント改革関連)

## 【視点3 健康・体力の保持増進】

- h 平成24年度の体力テストの各種目の結果を分析し、弱点を補う運動を考案し、児童が平素から体力づくりに取り組める環境づくりを行う。  
※H25:95~122% (カリキュラム改革関連)

## 【視点4 外部人材の活用による学校活性化】

- i 平成24年度の地域人材活用数を1.5倍にして子どもの体験活動の場を増やすことで、「体験が将来に役立った(どちらかと言えば役立った)」の割合を80%以上にする。

※H25:のべ 63名の活用 93% (ガバナンス改革関連)

- j 平成24年度の学識経験者人材活用数を2倍にして教職員の研修の場を増やすことで、「授業や指導に役立った(どちらかと言えば役立った)」の割合を80%以上にする。

※H25:のべ 10名の活用 100% (学校サポート改革関連)